
「瞑想とマリア」

日時：2015年12月26日（土曜日）（昼）

13:00-17:00（受付は、12:50から）

宝彩瞑想会レジメ
宝彩有菜



（イメージ：by エルグレコ）

● イエスと瞑想

- * イエスの教えは瞑想の教え
- * 瞑想することにより知りえたマインドの働き等の詳しい説明
- * トマスの福音書に詳説

● イエスの弟子 マリア

- * イエスの他の弟子達
 - 新約聖書の聖人達 ペテロ、マタイ、マルコ、
 - 外典聖書の聖人達 マリア、トマス、ユダ、フィリポ

* マリアの位置づけ

パトロン、スポンサー、恋人、弟子、塾長、etc

●マリアの福音書

「マリアの福音書」の残された全文は、全部で十数頁。

「マリアの福音書」内容構成

第1章(1-6頁は欠損)

第2章 救い主の弟子達への教え(の続き)

(1)物質の消滅についての問い

(2)救い主のその答え

第3章 世に罪は存在しない

(1)世の罪についてのペトロとの問答

(2)人の病死の原因についての説明

(3)物質と情念について

第4章 救い主の残した言葉

(1)内にいるまことの人の子

(2)宣教についての指示

(3)救い主の退去

第5章 マリアの励まし

(1)彼が去った後の弟子たちの悲しみ

(2)マリアの励まし

(3)マリアの督励

第6章 ペトロのマリアへの要請

(1)ペトロの要請

(2)マリアの説明開始

第7章 マリアが救い主から受けた教えを語る

-
- (1) マリアの見た似像について
 - (2) 救い主のマリアへのお祝いと認定
 - (3) 救い主のマリアへの似像の詳説

第8章(11－14頁欠損)

第9章 魂の上昇について

- (1) 魂と着物と真我の関係
- (2) 第三勢力を超越する
- (3) 第四勢力の七つの姿
- (4) 最後に無知を滅ぼして到達(解脱)

第10章 マリアの話に対する弟子達の反応

- (1) アンデレの否定的反応
- (2) ペトロの否定的反応
- (3) マリアの涙の抗議
- (4) レビのペトロ達への反発と叱責
- (5) マリアに対する称賛
- (6) 宣教の方針
- (7) 弟子たちの出発

2章

(1)物質の消滅についての問い

1「…それなら物質は全く破壊されるのでしょうか。されないのでしょうか」。

(2)救い主のその答え

2 救済者が答えた、「一切の本性、すべての形あるもの、すべて被造物は相互に関連して存在する。

3 そして再びそれらはそれ自身であるべき根源へと解体していく。

4 物質の本性は、その本性に属するところのものへと解体されるからである。

第3章 世に罪は存在しない

(1)世の罪についてのペトロとの問答

1 それからペテロが彼に言った、「あなたはすべての問題を説明してこられました。もうひとつ私たちに教えてください。

2 世の罪とは何でしょうか」。

3 救済者が答えた、「罪といったようなものは存在しない。

4 むしろ、あなた方自身が罪を生み出しているのである。それは、罪と呼ばれる姦淫の本性と一致した行動をとるときに生じる。

5 このような理由により善なる方があなた方の中に、あらゆる本性に属する善なるものものを求めてきたのである。

6 それはその根源にそれを据えるであろう」。

(2)人の病死の原因についての説明

7 それから続けて、彼は言った、「なぜあなた方は病気になり、そして死ぬのか。

8 それは、自分を惑わすものをあなた方が愛しているからである。

9 考えるものは誰でもこれらの事柄を熟考するが良い！

(3)物質と情念について

10 物質が情念を生んだ。情念には似姿がない。それは本性に反するものに由来しているからである。

第4章 救い主の残した言葉

(1)内にいるまことの人の子

11 それによって、心をかき乱す錯乱が体全体に生じたのである。

12 このようなわけで、私はあなた方に言ったのである。『心満ち足りているがよい。

13 たとえ不満や反感が残っても、本性のもう一方の似姿の前だけでも満足と恭順を示すが良いと』。

14 聞く耳のある者は聞くべし！

第4章 救い主の残した言葉

(1)内にいるまことの人の子

1 祝福された方はこれらのことを言ってから、彼らすべてに別れの言葉を告げた。

2

あなた方に平安があるように！ 私の平安があなた方自身のうちに得るように

3,4『ほらここに』『ほらあそこに』と言ってあなた方を惑わすもののために警戒しなさい。

5 まことの人の子は、あなた方の内側に存在するのだから。

6 それに従いなさい！

7 求めるものは見出すであろう。

(2) 宣教についての指示

8 それだから、いって、王国の福音を述べ伝えなさい。

9 私があなた方のために定めたもの以外に、いかなる規則も定めることをするな。

10 法制定者のように法を発布することもするな。さもなければ、あなた方はその法によって支配されることになる。

(3) 救い主の退去

11 これらのことを語り終えてから彼は彼らから離れた。

● マリアの悟りの内容

* 瞑想の進展

● ペテロ派が優勢になった理由

* イエスの教えではないから

* ユダヤの一神教の延長

* ローマ帝国末期の統治に適合

● マリアの福音書から見たイエスの教え

* ユダヤ教的神の否定(トマスの福音書も)

* ユダヤの戒律の否定(トマスの福音書も)

* 瞑想的境地の推奨

● マリアとの会話

* 拙著:「イエスの愛と死」参照

● マリア派がもし優勢であったら

* 仏教的西洋世界に

● イエスがもし現状をみたら

* 今のキリスト教の現状をみて一番驚く人はイエス本人
(真逆の教えになっている、啞然)